

かしま 議会だより

第112号

令和4年12月定例会号

令和5年1月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



初詣客でにぎわう祐徳稲荷神社

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
1月27日の議員とかたる会は中止となりました。

12月定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
一般質問(12名)	P6～P12
総務建設環境委員会審査報告	P12
総務建設環境委員会行政視察報告	P13
文教厚生産業委員会行政視察報告	P14
公共交通対策特別委員会行政視察報告	P15
議会あれこれ/議長交際費	P16



鹿島市のホームページもご覧ください。

鹿島市議会

検索



鹿島市消防出初め式（1月7日）

17日・休会
 18日・休会
 19日・休会（議案整理）
 20日・委員会報告、議案審議
 ・質疑、討論、採決
 ・閉会

鹿島市議会
 令和4年12月定例会 会期日程

1、会期
 自 令和4年11月30日
 至 令和4年12月20日

2、日程

【11月】
 30日・開会
 ・会議録署名議員の指名
 ・会期の決定
 ・議案の一括上程
 ・（市長の提案理由説明）

【12月】
 1日・休会（議案研究）
 （発言内容通告締切）
 2日・休会（議案研究）
 3日・休会
 4日・休会
 5日・休会（議案研究）
 6日・議案審議、質疑、討論、採決
 7日・議案審議、質疑、討論、採決
 8日・休会（議案整理）
 9日・総務建設環境委員会（議案審査）
 10日・休会
 11日・休会
 12日・休会（議案整理）
 13日・一般質問（3名）
 14日・一般質問（3名）
 15日・一般質問（3名）
 16日・一般質問（3名）

次のことを審議し決定しました

【令和4年12月定例会】

議案番号	議案内容	西一郎	宮崎幸宏	笠継健吾	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	勝屋弘貞	伊東茂	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果
議案第59号	専決処分事項の承認について(令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 承認
議案第60号	鹿島市水道事業審議会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第61号	鹿島市職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第62号	鹿島市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第63号	鹿島市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第64号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第65号	市長及び副市長の諸給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第66号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第67号	鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第68号	一般職の職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第69号	令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第70号	令和4年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第71号	令和4年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第72号	令和4年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第73号	鹿島公民館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第74号	能古見公民館及び鹿島市のごみふれあい楽習館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第75号	古枝公民館及び鹿島市林業センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第76号	浜公民館及び鹿島市臥竜ヶ岡体育館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第77号	北鹿島公民館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第78号	七浦公民館及び鹿島市漁村センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 可決
議案第79号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第80号	令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	議長	賛成全員 可決
議案第81号	鹿島市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	議長	賛成全員 同意
議案第82号	鹿島市教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	議長	賛成全員 同意
議案第83号	鹿島市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	議長	賛成全員 同意
議案第84号	鹿島市固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	議長	賛成全員 同意

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…監査委員のため審議に参加できない

議案 審議

議案第69号
令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



中村 日出代 議員

質問一 市営新方住宅の改修工事で要望事項はどのような意見があったか。
答弁 水まわりの要望が多かった。水まわりを中

心に計画している。
質問二 県営住宅と市営住宅の設備の違いは。
答弁 住宅の設備に違いはないが、多少の差は生じている。
意見 差がないように要望する。
質問三 西峰住宅もかなり傷んでいるが、改修の計画はないのか。

議案第69号
令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



松尾 征子 議員

市営住宅の水洗化は
質問一 市営住宅の水洗化はどのようなになっているのか。
答弁 水洗化は末光執行

分と中村の2住宅。
質問二 市民には水洗化を進め、市営住宅は完全にされていない。今後の取り組みは。
答弁 新方・古枝等合併・単独浄化槽のところもある。古いところ、廃止予定のところもある。予算の執行状況を見ながら計画を。

議案第69号
令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



笠継 健吾 議員

積立基金の状況・森林環境譲与税基金について
質問一 令和3年度から4年度12月まで取り崩し

0で残高は増加のみであるが、使途はどのようなものに使われるのか。
答弁 森林環境譲与税の使途は森林整備及びその促進に関する費用、例えば間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等に関する費用に充てることができ

議案第69号
令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



伊東 茂 議員

市営新方住宅衛生設備改修工事について
質問 老朽化した市営新方住宅の水回り(衛生施設)の改修工事が入札不

調等で当初予定より数か月遅れで着手となる。浜公民館での市長と語る会でも入居している子供から早く綺麗にして欲しいと要望が出ていた。
工事は全戸改修お願いしたい。また業者への発注と工期も急いで欲しい。
答弁 夏場の入札が不調となり工事が遅れ入居者

議案第69号
令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



西 一郎 議員

市報「広報かしま」作成業務委託料(令和4年度設定分)について
質問一 委託先業者の選定方法は。

答弁 プロポーザルにて業者を選定する。
質問二 作成業務を委託する目的やメリットは何か。
答弁 令和5年度4月より嘱託員による全戸配布になる。
それに合わせて鹿島市からの情報をより分かりやすく伝えるために専門

議案第69号
令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



樋口 作二 議員

物価高騰に伴う燃油等緊急支援について
質問 燃油・肥料・飼料等の高騰で、第一次産業を中心に困難な経営状況

の中にある。
今回の補正予算には計上されなかったが、今後どのような支援を考えているのか。
答弁 一次産業については6月や9月議会の補正予算で議決した支援を令和4年度分として行っており、国・県、そして市単独の上乗せ分について

議案第69号
令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について



徳村 博紀 議員

市内道路整備について
質問 中川・井手分線道路整備について歳入は事業債が1800万円、歳出は2000万円となっ

ている。歳入歳出の金額の違いは。
また、横田堤横の道路拡幅工事で片側通行になっているが、区間と工期の回答を。
答弁 中川・井手分線道路整備については、一般財源から200万円支出している。横田堤横(横田公民館、鹿島小学校)

議案第73号から第78号
地区公民館の指定管理者の指定について



中村 和典 議員

6地区公民館の指定管理のあり方について
質問一 地区公民館に指定管理者制度が導入され

員の雇用状況等は、どうなっているのか。
答弁 12名の職員が勤務している。そのうち15年連続して勤務している職員が4名いる。
質問二 本年度の市監査委員による財政援助団体の監査結果によると、かなり厳しい意見や指摘があるが、所管課は、どの

ように受け止めているか。
答弁 改善されるまで現地調査を行い、情報を共有し指定管理者のあり方について、処遇改善を含め、庁内で話し合いを進める。

議案 審議

一般質問に12人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信!

12月13日、14日、15日、16日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【12月13日】



福井 正 議員
松尾 征子 議員
池田 廣志 議員

【12月14日】



杉原 元博 議員
中村 一堯 議員
中村 日出代 議員

【12月15日】



樋口 作二 議員
西 一郎 議員
中村 和典 議員

【12月16日】



松田 義太 議員
宮崎 幸宏 議員
伊東 茂 議員

※議場では、新型コロナウイルス感染予防のためアクリル板を使用して質問、答弁をしています。



松尾 征子 議員

オスプレイの

佐賀空港配備は許せない

国からも認められた憲法があるから。

質問一 オスプレイの佐賀空港配備計画については、県と地元漁協は空港と自衛隊との共用に反対する協定が結ばれていた。今回この協定がくつがえされた。

見直しについては山口義祥知事が漁協を訪れて直接説得に当たったという。12月11日佐賀新聞の記事で明らかになった。

知事は「私は平和を守るためなら何でもやるつもりだ。国防は平和のためにある。すべての都道府県が自衛隊の基地を置かないと国防は成り立たない。佐賀配備に協力すべきと思いつつも、長い年月をかけて慎重に審議し、漁協に寄り添って受け入れた」と報告されている。

日本の平和が続いているのは、自衛隊基地があったからではない。他

ことになる。騒音はもちろん、危険にさらされることになる。

国は戦争準備に43兆円もの予算を言っている。オスプレイ配備による戦争準備は許せない。市長のお考えを。

答弁 漁協は協定を結び、長年話し合いを行ってきた。協定の見直しを容認された。

これまでの経緯、必要性を鹿島市民がどう考えているのか。安心、安全を守る立場であるので、国や県にお願いしていかなければいけないと思う。



池田 廣志 議員

生活環境に配慮した

まちの在り方について

街なかを住みやすい環境に

質問一 今年の夏、幹線水路の取水口の水門が閉められ、農地のある方に全量が流され、街なかの幹線水路に水が流れず、匂いと蚊が発生したので、水管理について尋ねる。

答弁 街なかの水路の水管理については、昔から慣行に沿って、地元の役員や生産組合長が管理されている。

近年はコロナの影響で、管理のための会議が開催できない状況だが、早い時期に会議の中で、水路の適正管理について協議をする。

公園整備と害獣対策の考えは

質問一 各小学校区で、遊具のある公園の場所が、



福井 正 議員

鹿島市の交通全般の

取り組みについて

長崎本線の利便性向上策について

質問一 9月23日に長崎本線の特急「かもめ」から「かささぎ」になり1日45本から14本に減便。普通列車は本数は変わらないが、長崎方面へ通勤通学の方にとって、1時間から2時間の乗車となり、ダイヤも肥前鹿島駅発の6時台がなく、7時台1本長崎直行便があるが、始業時に間に合わない。佐賀方面も江北駅での乗り換えや福岡方面からの特急も乗り換えの不便さがある。このことの解決策として鹿島市の取り組みは。

答弁 通学高校生などへのアンケート調査を行った。また佐賀県・鹿島市・太良町・白石町・江北町で利便性向上を協議している。

質問二 市内循環バス・乗合タクシー等の運行状況と改善策は。

答弁 循環バスは1便2・14人から3・39人に向上、乗合タクシーも利用者が増加。予約型乗合タクシーは古枝線は利用者が多い。

能古見線・北鹿島線は横這いである。

質問三 高齢者の方の運転免許証返納の状況と支援策は。

答弁 75歳以上の自主返納者に、8千円分のバス・タクシー利用券を交付している。

質問四 欧州では地球温暖化対策として、内燃機関車から電気自動車への転換が始まっている。鹿島市も温暖化対策に取り組んでいるが、鹿島市の庁用車として、電気自動車採用があるのか。

答弁 将来採用の可能性はあると思うが、現在採用計画はない。

質問五 有明海沿岸道路と国道498号のバイパス整備の現状は。

答弁 498号バイパスは佐賀県と4市の期成会で進展があった。

有明海沿岸道路は知事発言で鹿島市側からの建設が決定。今後環境影響調査・設計等が行われると思う。



市民の公共交通手段となる普通列車



杉原 元博 議員

子どもの声を反映させる政策について

質問一 来年4月施行の「子ども家庭庁」設置で、市の子ども政策はどう変化するか。

答弁 現時点では、基本的な組織体制やこれまで取り組んできたことは変わらないが、新たな施策を取り入れながら柔軟に進めていく。

質問二 学校教育現場での対応について聞く。

答弁 関係機関、関係各課との連携を更に充実させ、家庭・学校・地域が一体的に子どもの成長を後押しする事が大切になると考える。

質問三 全国的に子どもの交通事故やケガが後を絶たないが、安全対策について聞く。

答弁 通学路の危険箇所について合同点検を実施し対応策を講じてきた。取り組みを推進するため「鹿島市通学路交通安全

プログラム」を策定し、交通安全教室も実施している。

質問四 子どもの貧困対策について聞く。

答弁 「子ども家庭センター」の設置をはじめ、支援を要する子どもや妊産婦等のサポートプラン作成や児童の居場所づくり支援など新たな事業にも取り組む、強化を図っていく。

質問五 子どもの社会への参画について聞く。

答弁 市長と高校生が語る会など意見を聞く機会を設け、質問にもあつた少年議会なども参考に教育委員会とも連携し取り組んでいく。

通級指導(9月一般質問の続き)について

質問一 現状の問題点・課題について聞く。

答弁 加配教員の増員に

対する要望通りにはなっておらず、全ての学校において通級指導教室が設置できていない。

質問二 西部中は東部中の2.5倍の生徒数だが、通級利用生徒数はほぼ同じである。通級指導が必要な生徒が受けられていないのでは。

答弁 本年度当初の申請において、必要とされる生徒が通級できている状態と考えている。

質問三 小学生で本来通級指導を受けた方がいい児童が受けられていない現状があると思う。どんな手立てを考えているのか。

答弁 平成29年の法改正で教職員の定数改善が行われ、通級指導の基礎定数が新設された。10年間で段階的に必要な学校に設置または増設されるよう、市として県への要望を継続していく。



中村 一堯 議員

古枝小学校が受賞した第53回博報賞について

質問一 古枝小学校が受賞した博報賞は、児童教育現場の活性化と支援を目的とされ「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」に対し、学校・団体・教育実践者へ表彰される。日本で最も歴史のある賞であり、鹿島市では50年ぶりの受賞となった。今回の古枝小学校の受賞にあたり、その内容と成果は、また副賞の100万円の使い方について。

答弁 古枝小学校では、これまでも地域の方々にご協力をいただきながら、豊かな自然や歴史的な史跡、面浮立などの伝承芸能などを題材とした体験学習に取り組んできた。令和元年からは、ふるさと学習の中に主権者教育の視点を新たに取り入れることで、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、より

良い社会の形成に積極的に関わりとする児童の育成を目指した教育活動を実践している。これまでも「佐賀県児童生徒ふるさと学習コンクール」にて、最優秀賞、優秀賞を受賞した。今年度はその集大成として鹿島市教育委員会でも推薦し、博報賞受賞となった。

副賞の100万円については、学校運営協議会で協議され地域活動の助成金として有効に活用される。

質問二 この博報賞をきっかけに鹿島市の教育へどういかしていくか。

答弁 古枝小学校の取り組みの優れた点は、主権者教育の視点を取り入れた課題探究学習となるよう教育課程の改善を行ったところである。ふるさと学習を行うこと自体が目的化しないよう、

目指す具体的な児童の姿を校長以下全ての職員で共有し、地域の方々のもとに何度も足を運び、活動を通して伸ばしたい資質や能力について理解を得た上で学習を進めてきた古枝小学校の取り組みは非常に良い事例となった。このような良い取り組みを各学校に紹介、共有し、参考とすることで市内小中学校のふるさと学習の充実に繋げていく。

質問三 保育園側の遊水地にも水生植物が繁茂しているが、管理者は誰か。

答弁 鹿島市都市建設課の管轄地域である。

質問四 塩屋樋門は、誰が管理しているのか。

答弁 塩屋樋門は、誰が管理しているのか。

質問五 大雨時における七浦漁港の漁船転覆対策をどう考えているのか。



古枝小4年生の環境学習

面浮立奉納



中村 日出代 議員

ふるさと納税について

質問一 令和3年度に、ふるさと納税をした他県からの人数と納税額は。

答弁 人数、43,886人。納税額約7億4,200万円となっている。

質問二 ふるさと納税制度はいつまで続くのか予想できるところで教えてほしい。

答弁 今のところ制度の期限は言われていない。恒久的な制度でない意識は持っている。

意見 恒久的な制度ではないので過度に依存はできない。

質問三 ふるさと納税を活用した田澤義鋪記念館のクラウドファンディング実施についてはどのような条件が必要か。

答弁 田澤義鋪記念館で行う事業、返礼品、受付期間を決めて頂きたい。

質問四 田澤義鋪記念館のクラウドファンディング

グの提案書は条件を満たしているか。

答弁 概ね条件は満たしており、クラウドファンディングとして取り組める。

意見 田澤義鋪記念館は寄付金で記念館の事業を運営をされている。クラウドファンディングで安定した事業が確保できるように協力を。

イノシシ等被害防止対策事業について

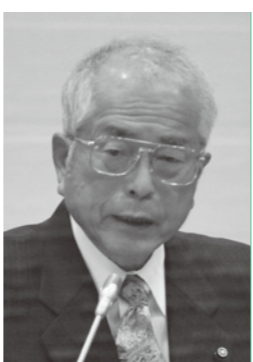
質問一 イノシシの被害状況は。

答弁 県の調査で令和3年度の被害額は990万円。実際にはもっと多いと思われる。

質問二 これだけの被害防止には防柵補助金予算を増額する必要があるのか。

答弁 5つの遊具があり、今年度中に4連式プランクの修繕を行う予定。令和5年度にすべり台・箱型プランコ・肋木チェア・インクラムを撤去し、3連式鉄棒を修繕する方向。

意見 高齢者は遊園で遊ぶ子ども達の声を聞くと元気が出る。また、遊園の老人会への管理委託事業の継続を。



樋口 作二 議員

鹿島東部地区の道路工事で関連する水害対策について

国道207号の改良工事について

質問一 鹿島バイパスから母ヶ浦方面への国道207号改良工事の進捗状況は。

答弁 西葉ガードを広げ、カーブが緩やかになるルートで母ヶ浦川に架かる琵琶岬橋までの工事を行う。新しい琵琶岬橋は暗渠を取り除いた構造となる。

質問二 母ヶ浦川水路の洪水対策として雑草・灌木の除去が必要だが、管理者は誰か。

答弁 干拓側は杵藤農林事務所の管轄であるが、道路側は民地で地元の管理となる。

質問三 遊水地には葦が

繁茂しており浚渫をお願いしたいが管理者は誰か。

答弁 杵藤農林事務所の管轄である。

質問四 塩屋樋門は、誰が管理しているのか。

答弁 鹿島市都市建設課の管轄地域である。

質問五 大雨時における七浦漁港の漁船転覆対策をどう考えているのか。

答弁 当面、整備した土地への陸揚げで対処したい。避難港建設も考えられるが、受益者負担も大きくなるので考慮中である。

質問六 関係部署が多岐にわたり洪水対策が遅滞しているが、連携会議は進んでいるのか。

答弁 今まで各部署で対

応してきたが、流域治水という考えのもと、県の政策部も入って協議するので、これから対策が進むと考える。

鹿島・諫早間の有明海沿岸道路について

質問一 鹿島・諫早間の有明海沿岸道路計画はどのようになっているのか。

答弁 令和三年に佐賀県より新広域道路の構想路線に指定され、これから調査に入る段階である。ルートは地形等様々な条件の複数案を比較検討して決定されるが、有明海沿岸の熊本・福岡・佐賀・長崎県の連携した発展のため、鹿島市としても強く要望していく所存である。



西 一郎 議員

DXを活用した鹿島市の 具体的な取り組みについて

質問一 市長が想われるDXを活用した鹿島市の未来について。

答弁 今後、人口減少による職員減少が見込まれる。複雑化した行政活動を担うことや、災害対応、質の高い住民サービスを提供し続けるために自治体のDX化が急務である。現在、10月にはDX推進本部が初会合を開催し職員意識改革を行い各部署で何が必要か検討し調整している。

質問二 各部署で今後どのようにDXを活用していくのか。

答弁 各部署で様々なDX化に向けた政策を調整中。各種行政サービスを市役所に足を運ばなくても対応できるようにしたい。またマイナンバーカードの交付を進めており、鹿島市では6割程度交付

済みで健康保険証や金融口座とも連動して利便性を高めていく。令和5年1月5日より各種証明書を全国各地のコンビニで交付できるようになる。今後1名程度の専門家を雇用予定である。

具体的DX化の予算は国の補助金や効率化による費用減少分の一般財源を活用していく。

中央児童遊園 について

質問一 新しい遊具の設置完了時期は。

答弁 色々な方が利用できる全長10m程度のユニバーサルデザイン遊具を設置する。設置工事は一週間程度。時期は令和5年2月中旬になる予定。



遊具が新しくなる中央児童遊園

質問二 駐車場の設置について。

答弁 地元からも強い要望が上がってきている。公園内の一部に駐車場を設置予定。具体的な内容は現在調整中。

質問三 バリアフリー化について。

答弁 公園内の環境整備も地元区長と協議を行っている。段差もあつたり入口は車いすやベビーカーでそのまま入ることが出来ないなどの問題も認識している。引き続き庁内で検討していく。



松田 義太 議員

鹿島市が直面する 政策課題について

SAGA2024 佐賀国民スポーツ大会 全国障害者スポーツ大会 について

質問一 国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会が令和6年に佐賀県で開催される予定になつているが、鹿島市で開催される競技及び日程等について、また、今後の広報活動の取り組みについて伺いたい。

答弁 正式競技の「アーチェリー」は、令和6年10月5、6、7日の3日間。「軟式野球」は、10月11、13日の2日間開催される。そして、公開競技の「グラウンドゴルフ」は、9月21、22日の2日間、デモンストレーションスポーツのさわやかグラウンドゴルフは、5月12日、バグジーは、5月19日に開催される。



広報活動については、市内小中学校への訪問、各イベントでの競技体験に力を入れている。今後は、ケーブルテレビ、市報、のほり旗等での広報周知に努めたい。

質問二 全国から多くの選手や関係者が鹿島に來られる予定なので、宿泊、競技場間の輸送として鹿島市内の観光などPR活動に努めてほしい。

答弁 開催にあたり、各専門委員会があるので参加者の皆さんへは、しっかりとしたおもてなしが出来よう準備をしていきたい。

有明海再生の 取り組みについて

質問一 有明海西部の海苔養殖業においては深刻な赤潮被害や栄養塩不足による色落ちにより、収穫量が例年の半分以下という、かつて経験したことがない不作、そして、昨今の原油・施肥の高騰など厳しい環境下にある。市として、しっかりと支援策に取り組んでほしい。

答弁 厳しい状況下は認識している。漁協と協議を重ねながら、どのような支援ができるか検討していきたい。



中村 和典 議員

市長と語る会について

質問一 11月11日から11月25日まで古枝を除く5地区で開催された市長と語る会の参加者の状況は。

答弁 全体で199人の参加であった。年代層は50代から70代が86%で、若い人と女性の参加が少なかった。

質問二 参加者の声やアンケートの結果は。

答弁 ①暮らしやすいまちだと答えた人が80人、その理由は、自然が豊か、災害が少ない等②まちづくりで取り組みが必要な上位4つは、産業振興・交通・市街地活性化・雇用の順③市長の説明の中で興味があつた事業は、長崎本線の状況、鹿島駅整備事業、物価高騰と経済対策、新鹿島市民会館、医療費助成拡大の順であった。

質問三 市長自身の感想は。

答弁 人口減少や高齢化、害獣対策、公共交通など地域に共通する課題が多かった。一次産業の厳しい声も多かった。今後は、若い人の声を聴く機会をぜひ作りたい。今回の結果を第7次総合計画の見直しの参考になりたい。

果樹団地の 再整備事業について

質問一 音成・嘉瀬の浦地区において、本年度から農地中間管理機構関連農地整備事業に取組むことになった背景について。

答弁 多良岳オレンジ海道の開通をきっかけに地元で話し合いを進められ、合意形成に達したこの地区が国の厳しい採択要件をクリアしたため事業を

実施することになった。

質問二 本事業の概要及び効果について。

答弁 約13haの農地の基盤整備を行い、現在の土地所有者38人を最終的には13人の担い手に集約する。

令和5年度までに測量設計を行い、令和6年度から造成工事に着手し、令和9年度に完了予定である。5か年の事業費は、4億8千万円を見込んでいる。完了後の成果は、担い手13人で農地の集積率100%と、農業販売高約3倍の8254万円を目標とした稼げる農業経営を目指す。



宮崎 幸宏 議員

JR肥前鹿島駅周辺整備事業 などの鹿島市の喫緊の課題

JR肥前鹿島駅 周辺整備事業

質問一 本事業を行う動因及び経緯について。

答弁 従前からJR鹿島駅への送迎車両が常習的に交通混雑する等の問題を解決しようと検討してきたところであり、本整備事業は、長崎本線特急減便に対する振興策として行うものである。

質問二 本事業の概要（事業内容、事業費、事業完成予定）について。

答弁 基本計画で定めた事業内容は、「現駅舎」の改築、「新駅舎」の増設、「公共交通ロタリー」及び「一般車ロタリー」の整備を佐賀県が行い、この両ロタリーの間に「えきまえ広場」、「賑わい拠点施設」、「駐輪場」及び「一般車と観光バス等の駐車場」の整備を鹿島

市が行うことになる。なお、現時点では事業費及び事業完成時期は未定である。

意見 本整備事業のような公共施設（ハード）の整備は、ライフサイクルコストの管理を行い、身の丈に合ったスペックの施設にすべきである。

また、公共施設に「市民参加」や「賑わい」を求めるのであれば、特に使い方（ソフト）を重視した施策が大切となる。是非、「JR肥前鹿島駅周辺整備事業」を行うにあたっては、現在の駅利用状況、市民の醸成、さらに市財政の見直しを踏まえて、慎重に判断するよう強く要求する。

スポーツ振興による 地域活性化

質問一 地域活性化につながるSAGA2024

国スポ等に相応したスポーツ支援事業について。
答弁 鹿島市の地元スポーツ選手の育成、強化は必要と考え、現行スポーツ支援事業の予算範囲内において、事業を見直したりして支援事業を検討していく。

鹿島バイパスの豪雨 に伴う冠水対策

質問一 鹿島市発展のための鹿島バイパスの沿線開発に伴う周辺地域の治水対策について。

答弁 鹿島バイパス沿線の一部は、都市計画の用途地域外であり、沿線開発を見込んだ排水計画とはなっていない。このため、乙丸雨水ポンプ場などを活用する流域治水と併せ、本バイパスを含む北鹿島地区の浸水・冠水被害の軽減を検討していく。

【総務建設環境委員会行政視察報告】

●日程

令和4年10月12日～14日

●総務建設環境委員会

委員長 中村和典

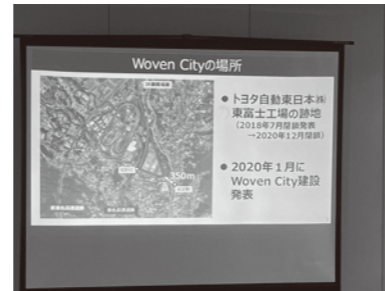
副委員長 中村一堯

委員 宮崎幸宏 杉原元博 勝屋弘貞 福井正 角田一美 中村日出代(欠席)

1. 静岡県庁(10/12)

「ウーブンシティの概要と自治体の関わりについて」

トヨタ自動車が、静岡県裾野市の工場跡地(東京ドーム15個分・約70.8万㎡)の土地を再開発し、ロボットやAI技術を駆使して未来都市(実験都市)を建設中である。2,000人が入居し、パートナー企業とともに、モビリティや水素エネルギーの活用など様々な領域の先端技術を検証していかれる。地元の裾野市としても、裾野市北部の郊外地域であるが、企業の再誘致(研究都市)と同様に、様々な人の集まり、交流の拠点化、提携企業の新たな展開が期待され、その取り組みによる波及効果が期待される。



2. 静岡県藤枝市役所(10/13)

「空き家対策について」

不動産業、解体業、建築士、司法書士などの民間業者と市が連携し、空き家ゼロサポーターとして、空き家所有者を対象にした相談会を実施する等、空き家の発生を抑制する活動を効果的に取り組まれている。特定空き家(危険空き家)対策については、強制執行による解体等までは実施されていないが、特定空き家になる一歩手前で、老朽住宅の解体費助成、解体後の固定資産税の減免等、市でできることを積極的に取り組まれていると感じた。



3. 静岡県伊東市役所(10/14)

「移住・定住対策について」

首都圏からの移住定住をターゲットとして、民間の移住サポート団体等と連携し、SNSによる情報発信、移住相談会、移住体験ツアー、現地ナビゲートの実施、移住イベントの企画実施の他、お試し移住支援事業補助金、移住就業支援補助金の助成、定住移住サイトの充実等の施策により、移住者(特にテレワーク者)が近年増加している。特に民間団体との連携やDXの取り組みが参考になった。



伊東 茂議員
新年度予算編成、
施策等について

厳しさが増す市民生活への継続支援策

質問一 12月からの「まると応援券」追加支援策は広く市民の賛同を得ている。しかし、食料品や燃料費高騰は冬場に入り更に市民生活に影響を及ぼしており、年末年始は家計の一定の手助けは出来ても来春以降が心配である。家計応援の継続支援策、子育て支援への給食費減額など早めの対策を求める。

答弁 消費喚起を促すため全市民へ追加支援を行った。買物券の配布には1億5千万円の事業費を要し、国からの新型コロナ対応地方創生臨時交付金とふるさと納税基金の一部を財源に充てた。厳しさを増す市民生活への支援策は財源確保も含め、検討を急ぐ。

市内活性化を促す工業団地建設の実施

質問一 市民は将来の明るい展望を期待している。本市へ企業進出の打診があつてからの造成工事では遅いと考ええる。

答弁 工業団地建設の候補地を現在3カ所まで絞り込んでいる。企業が求める造成(オーダードライド)か分譲型(リース方式)か県とも協議し国内の経済状況を見据え、本事業に有利な交付金活用を含め、検討していく。

中心商店街の歩道の再整備の必要性

質問一 平成10年、県の街路整備事業としてスカイロード商店街は完成

した。8年後にさくら通り商店街が完成し、広い歩道も整備された。しかし、25年近く経過したスカイロードの歩道はレンガがひび割れ、盛り上がったレンガにつかえ転び怪我をしたと苦情が多く寄せられている。鹿島駅周辺整備構想の一環として安全に回遊できる歩道への改修と駅から商店街への歩行ネットワークの形成(LEDビジョンサービス・サイン案内板等)を求める。

答弁 商店街を通る県道は市道への移管が予定されている。鹿島市へ移管する場合は安全性を確保し整備後に移管される予定である。歩行ネットワークの形成は「まちなか整備」として検討していく。

【議案第60号】総務建設環境委員会 審査報告

令和4年12月6日の本会議において、総務建設環境委員会に付託された議案第60号鹿島市水道事業審議会条例の制定について、12月9日に審査を行い、採決の結果、起立全員で可決された。

(執行部からの説明要旨)

水道事業の指針となる中長期財政計画において、給水人口の減少等で内部留保資金が減少していくことが推測されるため、それを見据えた経営方針や計画の策定を行っていく必要がある。そこで専門的な意見や市民の視点から広く意見を求め、審議を行うことのできる審議会を設置するものである。条例は、令和5年4月1日から施行する。

(主な質疑応答内容)

審議会での審議内容は料金改定だけを考えているのか、簡易水道事業も審議されるのかといった委員からの質疑に対し、執行部からは、料金改定も含めた中長期計画についての審議が予定されていることや基本的に水道事業の経営や計画についての審議を考えているとの答弁があった。

また、平成12年の改定以降、料金改定についての検討がなされたか、審議会委員に技術的専門家を入れるべきではといった質疑に対しては、料金改定については概ね5年毎に水道課内部で検討されたことや審議会委員に民間コンサルや市役所OBで水道分野の技術管理者の方を入れること等を考えているとの答弁があった。

【公共交通対策特別委員会行政視察報告】

●日程 令和4年11月14日～15日

●公共交通対策特別委員会 委員長 福井正 副委員長 樋口作二
委員 宮崎幸宏 池田廣志 中村一堯
松尾征子 角田一美 中村日出代(欠席)

1. 山口県美祿市(11/14)

美祿市は山口県の中央に位置し、人口は23,267人、面積は228.25km²である。

公共交通はJR美祿線が厚狭市と長門市を南北に結んでいる。また観光地でありバスは3社が運行。タクシーは美祿市に4社。これらの交通機関が地域公共交通を担っている。地域公共交通として7地区でミニバス運行。予約型乗合タクシー、登校1便、下校2便運行、マイクロバス4台運行している。病院バスとして、美祿市立病院で5便。美東病院で6便運行。

夜間運行していないタクシーだが、1台のタクシーと運転手を確保しており、夜間の急患などに対応している。運転手の賃金は市が補助していた。



2. 大分県臼杵市(11/15)

大分県臼杵市は大分県の東部に位置し、大分市の南に位置している。東は豊後水道に面した港町、西には500メートル級の山に囲まれている。産業は主に造船業である。面積291.20km²、人口35,127人、食文化創造都市を標榜している。

交通は東九州自動車道、JR九州日豊線臼杵駅他4駅、フェリー、大分空港までのバス、近隣市町と結ぶバス路線、そして循環バス6路線とジャンボタクシー4路線がある。利用者の皆さんの交通対策についての話し合いやご意見を大切にしておられた。教育委員会と話し合っ、土日休日にスクールバスを運行して一般の方が利用できるようにしたり、循環バスが停車するステーションに拠点を置いて、そこから乗客をボランティアでの無償輸送に取り組まれていた。無償輸送の経費はステーションの運営費として給付し運転ボランティアの賃金等の経費に充てることで賄っておられた。こういう努力で利用者も少しずつ増加していた。



3. 福岡県田川市(11/15)

福岡県田川市平成筑豊鉄道田川伊田駅及び駅前ロータリー広場整備

田川市では第3セクターの鉄道とJRの共同使用の平成筑豊鉄道の田川伊田駅の新設駅舎と駅前のロータリー整備の状況を見学してきた。

駅舎は瀟洒な造りの3階建てで、飲食店、パン屋等の商業施設とホテルが併設された駅舎だった。ロータリーはタクシーとバスが利用し、乗用車は隣接する駐車場に駐車する構造になっていた。



【文教厚生産業委員会行政視察報告】

●日程 令和4年10月26日～28日

●文教厚生産業委員会 委員長 樋口作二 副委員長 徳村博紀
委員 西一郎 笠継健吾 池田廣志 伊東茂 松尾征子 松田義太

1. 中海干拓の変遷と諫早湾干拓堤防開門の影響等について 島根大学 瀬戸浩二准教授

中海本庄工区は、諫早湾干拓堤防と同じように堤防で閉め切って淡水化したのち水門を開いて海水を導入した。しかし、堤防道路は撤去できず、水門からは海水の流入量は小さく、海の環境は元通りにならないことを膨大な研究資料にて説明された。諫早湾干拓についても長期間の締め切りでヘドロ化した調整池への海水導入は、よほど慎重に、科学的にやらないと有明海の海況に悪影響を及ぼすこともあることが理解できた。

また、なかなか止まらない国営事業が中止されたわけは、住民の圧倒的な中止要求によりその意を汲んだ政治が動いたからであった。諫早湾干拓開門調査要求も、漁業者だけの主張ではなく、一般住民が有明海の環境を戻すために大きな集団となる必要があると感じた。



2. 宍道湖における漁業者の動向と高次脳機能障害への対応について 松江市在 西村敏氏

元松江市議で、市議時代から市民活動に熱心に取り組まれていた方の話を伺った。宍道湖の漁師さんとのつながりが深く、当事者でないと語れない市民目線の話が興味深かった。宍道湖の漁民は、淡水化の漁業補償金1900億円を国につき返し、今でもシジミ漁を続けながら宍道湖の環境を守っている状況を伺い、有明海もそうした人と水環境のつながり方が未来に受け継がれるべきだと感じた。

息子さんの高次脳機能障害への対応には議員各位大変心動かされ、講話後に質問が相次いだ。深い父性と障害への研究、そして経験に基づく対応への助言が素晴らしかったので、機会があれば鹿島市民にも話を聞いてもらいたいと思った。



3. コウノトリを活かしたまちづくりについて 豊岡市コウノトリ共生課

自然鹿島がうたい文句で、ラムサール条約の湿地登録がなされた鹿島市にとって、どうすれば野鳥と共存した、活気あるまちづくりができるのかを学びたいと豊岡市を訪ねた。

訪問して驚いたのは、町中の施設にコウノトリが象徴として描かれていたこと。行政当局がコウノトリ共生課という部署を作って町づくりを行っていることも驚いたが、その成功例として市内の円山川のいたるところに野生のコウノトリが佇んでおり、市民に深く理解されていることが伺えた。

いずれにしてもこのコウノトリが住める環境を作り出すには、市民の、特に農業者の意識を変えることが必要で、時間と話し合いの労力が膨大に上ったと推察できる。

鹿島市においても、ラムサール条約湿地登録地としての環境意識をより高めるには、干潟環境だけではなく、鹿島市の大地全てを鳥瞰した視線を持って活動できる市民を少しでも増やしていくべきだと感じた。



議会あれこれ (令和4年10月～12月)

10月

- 5日 9月定例会 委員会報告、議案審議、質疑、討論、採決、閉会
全員協議会
- 6日 県民スポーツ大会 結団式
- 7日 議会だより編集会議
- 8日 鹿島市長杯ソフトテニス大会 (～9日)
- 12日 総務建設環境委員会行政視察 (～14日)
- 14日 3道路期成会合同要望 (佐賀市)
佐賀県市議会議長会
- 21日 四市議会議員交流会
- 25日 西部広域環境組合10月定例会
3道路期成会合同要望 (長崎県)
- 26日 文教厚生産業委員会行政視察 (～28日)
- 27日 九州市議会議長会

11月

- 1日 臨時議会運営委員会
- 2日 佐賀県後期高齢者医療広域連合代表者会議
議案勉強会
3道路期成会合同要望 (福岡県)
- 3日 鹿島市文化祭開会式
- 4日 よみがえれ！有明訴訟原告団・弁護団と
文教厚生産業委員会との意見交換会
全員協議会
- 8日 議会報告会プロジェクト会議
- 9日 全国市議会議長会評議員会
- 10日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会11月定例会
3道路期成会合同要望 (東京)
- 11日 議会運営委員会
- 12日 有明海沿岸道路大野島IC～諸富IC開通式
- 14日 公共交通対策特別委員会行政視察 (～15日)
- 16日 全員協議会
議会報告会プロジェクト会議
- 17日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会

令和4年11月発行の「かしま議会だより」第111号4ページに掲載しました「議案審議」の記事中、中村和典議員の氏名が抜けておりました。(4ページ左上の記事)関係の方々並びに市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。

- 28日 議会運営委員会
- 30日 12月定例会 開会 議案の上程 (～12月20日)
全員協議会
文教厚生産業委員協議会

12月

- 6日 12月定例会 議案審議
質疑、討論、採決 (～7日)
- 9日 総務建設環境委員会
文教厚生産業委員協議会
- 13日 12月定例会 一般質問 (～16日)
全員協議会
- 14日 臨時議会運営委員会
- 15日 全員協議会
- 20日 12月定例会 委員会報告、議案審議、
質疑、討論、採決、閉会
全員協議会
- 26日 議会だより編集会議

行政視察受入状況 (令和4年10月～12月)

- 10月14日 島根県議会
中山間地域・離島振興特別委員会 23名
- 21日 佐賀市議会新幹線問題研究会 22名
- 11月18日 佐賀県議会
新幹線問題対策等特別委員会 17名
- 12月21日 長崎県議会
九州新幹線長崎ルート建設促進議員連盟 22名

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	10月		11月		12月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	1	22,000	1	22,000
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	1	7,000	1	7,000
会費	1	4,000	0	0	2	7,000	3	11,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	630	1	630
合計	1	4,000	0	0	5	36,630	6	40,630

編集後記

早いもので、今年もひと月が経過しました。令和5年が市民の皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大から3年が過ぎようとしています。ゆるやかに人の流れや経済活動が元に戻りつつありますが、未だに終息が見通せない状況です。市民の皆様のご健康と地域経済の活性化の為に、今後とも議員一同懸命に働いて参ります。

まだまだ寒い日が続きます。新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染対策を十分に行いながら、身も心も清々しく春の季節を迎えていきたいと思っております。

そして、自然豊かで観光資源が豊富な鹿島らしさを大切に、ピンチをチャンスに変えていけるよう、鹿島の魅力を発信してまいりたいと思っております。

令和4年度 かしま議会だより編集委員会

- 委員長 杉原 元博
- 副委員長 福井 正
- 委員 西 一郎
- 委員 宮崎 幸宏
- 委員 笠継 健吾
- 顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。